

有賀下村石造物群の庚申塔(塚)

西街道の「有賣子」の宿場町。豊田宿は、江戸時代後期から明治時代初期にかけて、西街道の主要な宿場町として栄えた。宿場町の中心には、大正時代に建てられた「豊田宿駅舎」があり、現在は「豊田宿駅舎」の名称で保存されている。駅舎周辺には、多くの古民家や商店が並んでおり、歴史的風情を残す街並みが見られる。また、宿場町の北側には、豊田川が流れ、豊田市内でも最も長い川である。豊田宿は、豊田市内の観光スポットとして人気がある。

A map of the area around the Kōshin-tō Pagoda. The pagoda is located at the center of the map. To its left is the Maeda Family Cemetery (女帝塚), marked with a circle. To its right is the Maeda Family Tomb (女帝塚), marked with a circle. Below the pagoda is the Maeda Family Tomb (有賀下村), also marked with a circle. To the left of the pagoda is the Hachiman Shrine (ハチの墓碑), marked with a circle. Above the pagoda is the Maeda Shrine (有賀申塔), marked with a circle. A line connects the Maeda Family Cemetery and the Maeda Family Tomb. Another line connects the Maeda Family Tomb and the Hachiman Shrine. A third line connects the Hachiman Shrine and the Maeda Shrine.

江戸時代に流行した民間信仰

五
訪誠記



有賀ト村に8基の石碑。そのうち何と5基が庚申塔

今回の筆者

小野川恵美子さん

外国人籍住民に日本語学習の支援をするボランティアアサークル「諺訪日本語教室」の代表を務めています。



訪事務局（電話）
2107・2303

詳ての場所にての聞込合ひ
訪事務局(電話〇七〇・三〇〇)
時掲載

日本は大變珍重して康里塔(塔)です。謫居地方の米脂にあつて作られました。ある、「康里塔」が下謫居可れました。